

# 日本の経済を支える 情報システム について

## さまざまな情報システム

皆さんは、MARS、ZENGIN、PNET、REINS、arrow-head などの名前を聞いたことがあるでしょうか？

ほとんどの方がはじめて聞くキーワードだと思えます。これらは、日本経済に欠かすことのできない大規模な情報システム等で、各業界で日々稼働し、私たちの生活を支えています。

中でも MARS は、1960 年から安定的に稼働し続け



**法雲 俊栄**

Norikumo Shunei

【研究テーマ】

社会科学における  
情報システムの研究



ている最大規模の情報システムで、日本が世界に誇る情報システムと言っても過言ではありません。MARS は、JR グループの旅客販売総合システムとして、新幹線等の座席指定券類の予約・発券の業務を担っています。皆さんも、JR のみどりの窓口や改札付近に設置されている券売機で、一度は乗車券を購入したことがあるでしょう。その操作端末と連携しているのがこのシステムです。最近では、情報システムもネットワーク化し、さらにインターネットを介して、ユーザーが直接、スマホのアプリで座席予約や照会ができる凄い時代になりました。

他にも、ZENGIN は、全国銀行データ通信システムとして、国内の預金を取り扱う金融機関の間で発生する為替取引の業務を担っています。PNET は、郵政総合情報通信ネットワークとして、日本郵政グループ（ゆうちょ銀行、かんぽ生命保険、日本郵便）事業の基幹システムと各地域の郵便局を接続するネットワークシステムで活躍しています。REINS は、不動産流通標準情報システムとして、不動産流通機構に加盟する不動産会社が売買の依頼に基づき情報を登録し、共有することで、不動産業界全体の連携を図っています。arrowhead は、東京証券取引所で新株式売買システムとして活躍しています。

## 情報システムって、どんな存在？

皆さんは、これらの情報システムについてどのようなイメージをもっていますか？ほとんどの人は、コンピュ



ータやインターネットを活用した何かと答えると思います。その答えは、あながち間違っていないかもしれませんが、そう思うところに、少し落とし穴があります。

情報システムという情報技術の活用が先行して、コンピュータや先端技術ありきで考えてしまいがちですが、一方で、人と人のコミュニケーションによって有益な情報が創出される仕組みも、人間による（アナログ的な）情報システムとして捉えられています。トラブルに強く優れた情報システムというのは、実は、私たちのスマホやパソコンの利用に関する良し悪しと同じように、最終的には、携わる人間の意識によって、その意義や方向性が大きく変わるため、情報システムに携わる人、利用する人の思考が極めて重要なのです。

## 伝統を受け継ぐ情報システム

組織で情報システムを構築する際は、どの組織でも同じようなパッケージが適合するのではなく、その組織の事業活動や組織体制に基づいたかたちでシステム構築が行われています。それは、技術的な情報システムだけに頼るのではなく、人間による事業の営みや組織に根付いた伝統的な文化、業務活動や処理もすべて情報システムと捉えて構築する事を意味しており、模倣できない組織独自の情報システムを構築することが、組織の存続や価値を高める武器になります。

今日の情報システムのほとんどは、組織が受け継いできたシステム基盤に新しい情報技術を追加するかたちで

再構築が行われており、組織体制に比較的影響（ダメージ）を与えない導入手法として採用されます。一方、既存のシステム基盤から全く新しいシステムに刷新する場合、多くは組織に革新性（イノベーション）を期待する導入手法として採用されます。このような組織や社会で活躍している情報システムは、利用する人間や組織の伝統的な体制とバランスを取りながら日々運用されているのです。

皆さんは、今後の組織や社会にどのような情報システムが必要だと思えますか？また情報システムは、どうあるべきだと思えますか？学びを志す一助となれば幸いです。